秋の沢集中
谷川岳・東尾根

2009.10.12（祝）

L 平本、河崎（記）

南アルプス集中が、天候の関係で谷川岳に変わった。当初は山口さんも加えた 3 人パーティーだったが、山口さんが都合により参加できなくなり、平本さんと二人になった。ルートは偶然行きたいところが一致して、白が門沢と谷川の東尾根になった。

東尾根は 3 月に途中まで行って、時間切れのため引き返した事がある。一般的には春が有名だが、他の会の記録なんかにも無雪期に快適に登っている記録があって、岩稜歩きがてら、久しぶりに山を歩くのも楽しいかなと思っていた。

前日、白が門沢の遡行を尋常じゃない寒さの中終え、入浴と食事を済ませ、テントで軽く一杯やってから就寝。明け方は結構冷え込んだ。

13 時に肩の小屋集中のため、暗いうちから起き出して 6 時にはロープウェー駅を出発、一の倉沢に向けて歩き出す。秋晴れの中、厳剛新道を歩き出す。

マチガ沢出合

順調に進み、1 時間半掛からずにマチガ沢の下り口に立つ。そこから沢仕様に装備を整え、遡行を始める。水量も少なく、乾いた岩に今回新調したアクアステルスが良く利く。途中から右のシンセン沢に入る所が分かり難く、少し行き過ぎてしまいト

シンセン沢

ラバースして軌道修正する。シンセン沢上部は急で笹をつかんでの腕力懸垂登りになり、女性だったら苦労するだろう。

そして、春に一度来た見覚えのあるシンセンのコルに着き、一息入れる。

そこから第二岩峰をザイルを使って越えるが、ワンポイントが 4 級くらいで楽しめる。その後しばらくは岩稜歩きを楽しみ再び 3 級位の岩場が出てきて一応ザイルを出す。上部で残置ハーケンがある所があり、出しておいて良かった。

次第に国境稜線が近づいてきて、登山者がこちらを見物しているのが見えるが、時間も押してきて集合に間に合うか少し心配になってくる。そして、最後の第一岩峰に到着したが、直登はハングしていてシュリンゲも下がっていて自然ではない。右から巻けるか見てみると行けそうだったのでそうするが、濡れた草つきでいやらしい。スリップしないように一歩一歩慎重に歩

途中の岩峰

く。そこを越えればもう稜線はすぐそこで最後の草付きを登るとひょっこり登山道に出た。上から見守っていたらしい一般登山者から拍手を受けてしまった。

平本さんは一息入れてから肩の小屋に行くとの事で、私は先に進み丁度１２時に小屋に着く事が出来た。既に西黒尾根から来た新井さんとオジカ沢を変更してヒツゴー沢にした三井さんパーティーが着ており、その後残る赤谷川パーティー、万太郎谷パーティーも集合に間に合って無事に全員揃った。

私は待ち時間の間、小屋でおでんとコーヒーを頂いたが、雑誌岳人に出ていた、谷川岳救助隊を引退して小屋を管理している方としばし話をすることが出来た。

下山はパーティーごとに違ったが、私達はロープウェー駅から降りる予定でいた。しかし、駅に着いて驚いた事に、紅葉見物の登山者などで凄い混雑で１時間ほど待つとの事。待っているくらいならと、まだ体力的にも多少余裕があったので田尻尾根から歩いて降りる事にした。どんな道かなと思っていたが、意外に自然が残されていて、大勢人が来るような道とは違い渋い感じでなかなか良かった。

下に着くとロープウェーから降りた釣さん達とばったり会い、“結局変わらなかったか”と思ったが歩いて損は無い道だったかな。

東尾根は、シンセン沢のアプローチで少し厄介な以外は快適に登れる岩稜で、初心者にもお勧めである。秋の爽やかな空の下登れた今回の山行は、久しぶりに尾根歩きを楽しめたかなと思った。

今年は仕事の関係で春の沢集中には参加できず、沢自体もほとんど行く機会が無く、クライミング中心の活動であった。

来年は装備も一新して再び沢も少しずつやっていけたらと思う。

＜コースタイム＞

６：05（ロープウェー駅出発）-7：20（マチガ沢降り口）-9：00-9：20（シンセンのコル）-11：40（稜線）-12：00-13：30（肩の小屋）-16：00 過ぎ（ロープウェー駅）